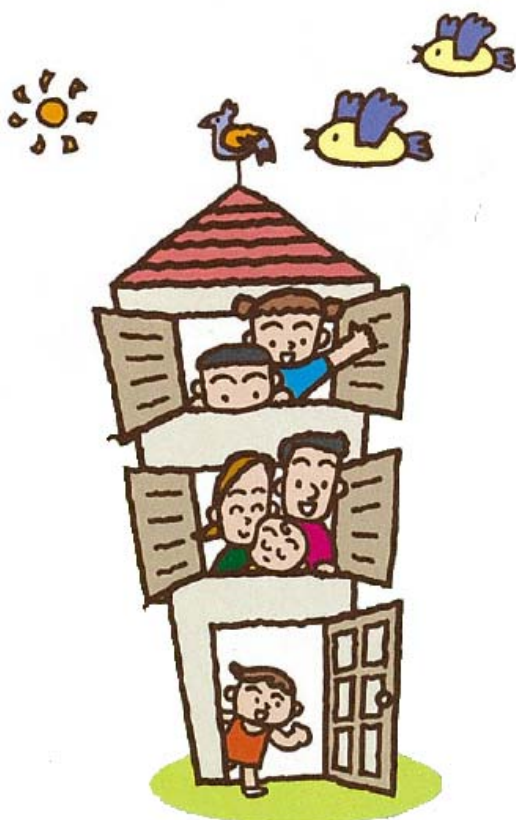




【参考】ライフステージに応じた支援

第3章「施策の方向」は、6つの大きな分野別に構成していますが、健康福祉は人の一生を通じてかわるものであり、一人ひとりのライフステージに応じて、切れ目なく、また必要に応じて複数の分野が連携して支援を行っていくことが大切です。ここでは、第3章でとりあげた項目を、ライフステージに着目して再整理しています。



項 目

乳幼児期・学童期

- 子どもの健やかな成長の支援 (P67)
- 児童虐待防止対策、DV対策 (P72)
- 障害の早期発見と療育支援 (P89)



青年期

- 若者の生活基盤の確保 (P58)
- 希望する人が子どもを持てる基盤づくり (P60)
- 障害のある人の地域生活を24時間支える体制の整備 (P95)
- 施設・病院から地域生活への移行支援 (P103)
- 障害のある人の雇用・就労支援 (P107)

妊娠・出産

- 希望する人が子どもを持てる基盤づくり (P60)
- 安心して出産・子育てができる医療体制の確保・充実 (P152)



子育て期

- 子育て家庭への支援の充実 (P63)
- 子どもの健やかな成長の支援 (P67)
- ひとり親家庭への支援 (P70)
- 児童虐待防止対策、DV対策 (P72)
- 障害のある子どもへの支援 (P76)
- 地域・社会の子育て力のアップ (P77)
- 安心して出産・子育てができる医療体制の確保・充実 (P152)



親の介護と高齢期

- 元気な高齢者の活躍への支援 (P53)
- 介護予防の推進 (P50)
- 見守りが必要な高齢者への支援 (P49)
- 介護が必要な高齢者への支援 (P42)
- 認知症高齢者への支援 (P46)
- 今後求められる医療の推進 (P158)





県の主要な取組

- 子どもの健康の確保、小児医療の充実、幼児教育の充実、学校教育の充実
- 第二青い鳥学園再整備、心身障害者コロニーの再編
- 児童相談センターの機能強化

- ヤング・ジョブ・あいちを活用した若者の就労支援
- 多様な主体を活用した結婚支援事業
- グループホーム等の運営への助成による地域生活支援
- 市町村障害者相談支援事業へのアドバイザー派遣
- 関係機関と連携した雇用促進・職場定着支援

- ワーク・ライフ・バランスの推進
- 不妊治療費への助成
- 妊娠・出産に関する正しい知識の普及
- バースセンター、総合周産期母子医療センター、NICU等の整備

- 子育て情報支援ネットワークの構築
- 低年齢児保育、病児・病後児保育などの保育サービスへの支援
- ひとり親家庭への就業支援・相談体制の充実
- はぐみんデーの普及啓発、はぐみんカード事業の全県的展開

- シルバー人材センター・老人クラブ等活動を支援
- あいち介護予防支援センターによる介護予防プログラムの開発・普及
- 地域のつながりによる見守りネットワークの構築
- 介護基盤の整備
- 地域包括ケア体制の充実
- 認知症になっても安心して暮らせる地域支援体制づくりの推進
- 在宅医療モデルの構築

全ライフステージに共通した項目

- あいち健康の森を活かした健康づくり (P118)
- 健康的な生活習慣の確立 (P123)
- こころの健康の保持増進 (P127)
- 自殺対策 (P129)
- ひきこもり対策 (P132)
- 新型インフルエンザなどの感染症対策 (P134)
- 食の安全確保 (P136)
- 医療従事者の確保 (P142)
- 救急医療・災害医療体制の整備 (P146)
- がん医療体制の充実 (P155)
- 今後求められる医療の推進 (P158)
- 障害のある人の自立を支える環境の構築 (P86)
- 新しい支え合いの推進 (P167)
- 環境づくりの推進 (P175)
- ソーシャル・インクルージョンの推進 (P178)